

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 19号)

平成31年 3月29日発行
兵庫のり研究所

穏やかな天候が続いていますが、珪藻は前回 (3/22) 調査同様に少ない状況にあります。窒素は、地先の調査地点で概ね $4 \mu\text{g-at/L}$ 台、二見東部以东の沖筋で $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。

(水温) 漁場内平均 11.5°C 。平年比 1.5°C 、昨年比 1.1°C それぞれ高い。(塩分) 平均 31.93psu 。前回 (31.83) より 0.1psu 高い。

(栄養塩、珪藻) キートセロスやスケルトネマ等数種の珪藻が大蔵海岸前でやや多く確認された。また高砂周辺で同種のもが少し見られた以外、この海域で珪藻はほとんど確認されない。明石海峡部周辺海域の窒素は $2 \mu\text{g-at/L}$ と低調であるが、今回調査は小潮期の下げ潮ということで地先を中心にアンモニア態窒素の値が少し高い傾向を示したため、窒素の漁場平均値は前回調査より少し高くなっている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.4	11.5	10.0	10.4
窒素	4.1 ※	3.5	3.0	2.1
リン	0.28	0.32	0.26	0.21

(3/22)

(3/30)

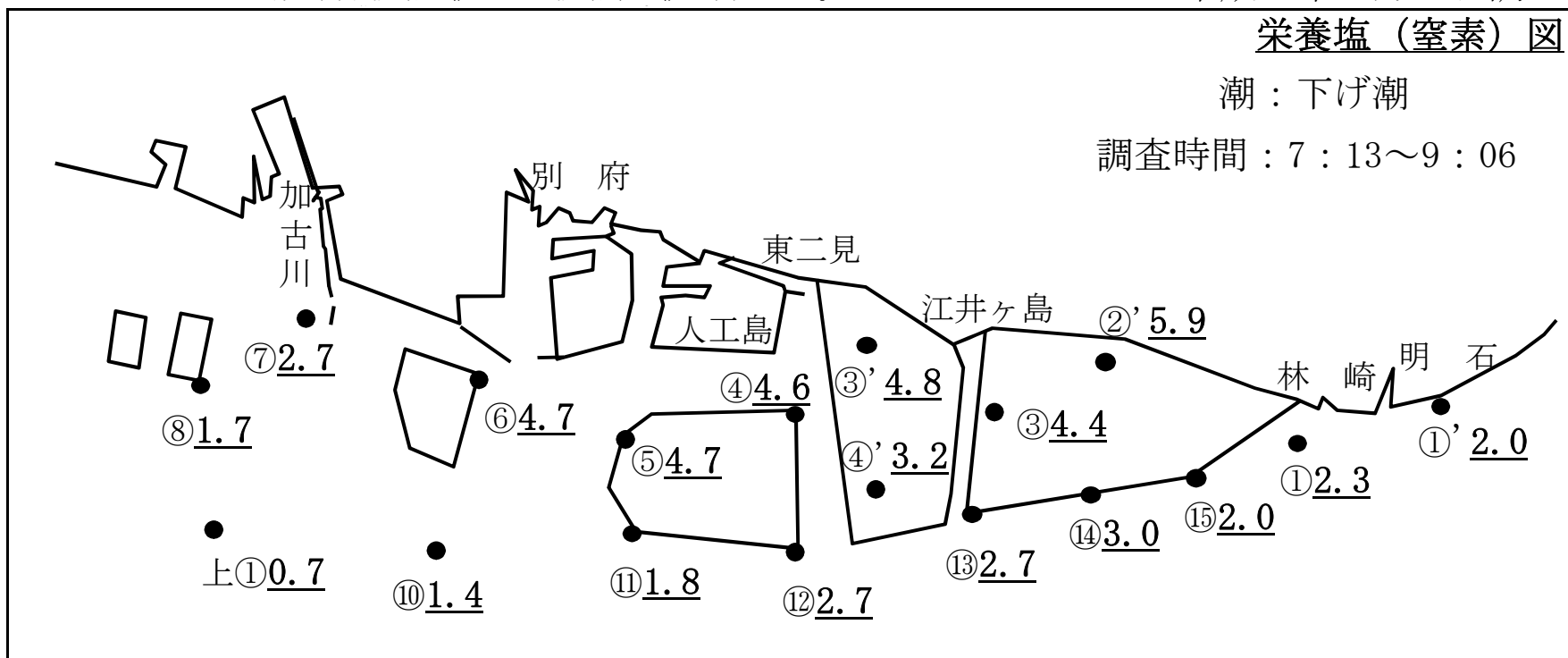
※別府・高砂漁場の値により漁場平均値が高かった。

平成31年 3月29日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:13~9:06



水温図

